

『防災マニュアル作成の手引き』の活用にあたって

災害が発生した場合、保育者等は園児の生命を守ることが最大の責務です。

本防災マニュアル作成の手引きでは、基本的・共通的な事項についての事例や留意点を記載していますので、これを参考にそれぞれの保育所・幼稚園等の各園の実態に応じた『独自の防災マニュアル』の見直し・改善に活用してください。

安全・迅速に避難するために

地震・津波から園児の生命を守るためには、避難場所、避難方法の決定は大変重要となってきます。また、安全、迅速に避難するには、日頃の避難訓練が欠かせません。

避難場所、避難方法の決定や避難訓練を行ううえで、特に次の点に留意が必要です。

避難場所は・・・

○確実に安全な避難場所の決定を！！

災害想定を正確に把握し、各園の実態を踏まえて、複数の候補地から確実に安全な場所を選定することが重要です。

○津波からの避難は、とにかく早く、少しでも高い場所へ！！

津波の危険性のある所では、園児をとにかく早く、少しでも高い場所へ避難させることを最優先に避難場所を考えなければなりません。そして、避難場所は一か所だけでなく、2次、3次とより高い場所も考えておく必要があります。

避難方法は・・・

○避難経路は複数用意！！

避難経路の安全性を事前に十分確認していても、地震の揺れによる建物の倒壊、土砂崩れなどにより、予定していた避難路が通れなくなることもあります。こうした場合でも、すぐに対応できるよう複数の避難経路を設定しておくことが大切です。

○保育者等だけで園児の避難ができるとは限りません！！

多くの園児を安全で迅速に避難させるためには、近隣の学校や事業所、自治会等地域の方々の協力を得ることも大切です。また、避難協力の協定を結んでおくことなども考えられます。

○園児の状況に応じた避難方法の選定を！！

自力では避難できない乳児や自ら徒歩で避難できる年長児など、園児の発育の状況によって避難する方法が異なってきます。保育者等の人数やおんぶ紐、避難車の整備状況と併せ、安全で迅速に避難できる方法を決定する必要があります。

避難訓練は・・・

○避難訓練を繰り返し行い、よりよい避難方法に！！

いろいろな場面を想定した避難訓練を繰り返し行い、その後、課題や問題点等を検証し、見直し・改善を絶えず行うことにより、よりよい避難方法としていくことが大切です。

○園児のスムーズな避難のために！！

園児は、避難訓練を繰り返し体験することにより、避難方法を体得し、混乱を起こさず、スムーズな避難につながります。

○地域との連携を深めるために！！

近隣の学校や地域の方々に各園の避難訓練に参加していただいたり、逆に各園が地域の防災訓練に参加したりすることで、お互いの関係づくりが進みます。

各園の実態に合った防災マニュアルづくりを！

保育所・幼稚園等においては本防災マニュアル作成の手引きを参考にし、地震・津波等の災害想定や、各園の実態（地理的条件、施設の状況、園児の家庭の状況、保育者等の状況等）を踏まえた『独自の防災マニュアル』を作成することが必要です。

